

PACS導入の接続コストおよび 保守・運用コスト低減コンサルテーション

H18年度の診療報酬改定により、総額で▲3.16%のマイナス改定。(売上高30億円の病院では、年間 約1億円の減収)画像診断関連においては、下記のような変更点となりました。

《減収要素》

- ・CT、MRの装置性能による検査料算定ロジックの変更とそれに伴う部位別算定基準の消失による同一月2回目検査の取扱の変化
- ・算定のための施設基準の厳格化
- ・乳房撮影単純撮影からの独立撮影の手技評価(5枚/検査以上撮影した場合)

《増収要素》

- ・DPC施設における画像診断管理加算の非包括化
- ・**コンピューター画像処理加算(PACS加算)の新設**

病院全体として増収要素となり、経営改善につながる加算であるなら、積極的に取るべきでは・・・
PACS加算をとるなら、フィルムレスPACSを導入し、**全病院フィルムレス運用**を早急に開始すべきです！

■フィルムレス運用により得られるメリット

[経済的効果] ※300床の中規模病院での場合

フィルム運用時のフィルム運用経費は、約▲8.1百万/年間。フィルム差益はあるものの、人件費・フィルム保管廃棄費用などを計算すると減収要素となっています。これを完全電子化運用に切り替え、PACS加算を算定し、さらに業務効率を10%(検査数:1割UP)向上させると、約8.536百万/年間の収益を計上することができます。

<施設の運用条件>

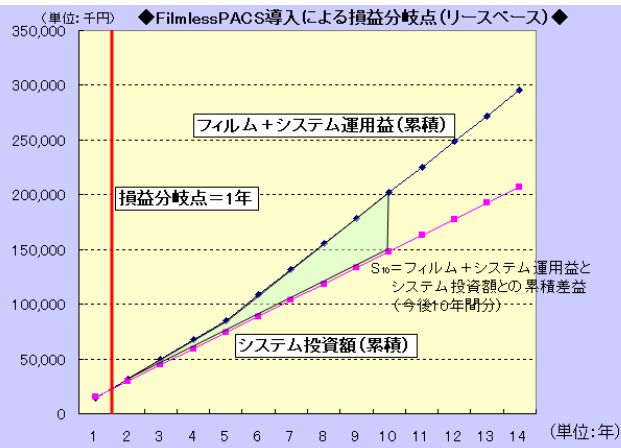
- ・病床数:266床(フィルム運用)
- ・放射線部年間総検査数:約36,000件 ・年間発生フィルム総数:約82,000枚
- ・フィルム保存期間:5年(保管年限以降フィルムは廃棄(フィルム内部保管))
- ・フィルム管理の人件費は年間約20人月

<フィルム運用時のコスト条件>

- ・フィルム仕入価格 半切=240円、B4=145円
- ・人件費単価 人月400千円
- ・フィルム破棄価格 20円/枚 ・フィルム袋価格 20円/枚
- ・イメージャ 6台 メンテナンス費 600千円/年

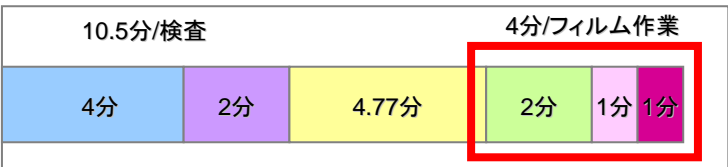
<フィルムレス運用時のコスト条件>

- ・システム購入価格 50百万 ・次年度以降保守費 5百万
- ・リース料率(5年) 1.8%
- ・6年目に購入価の50% ハードウェア更新 ・11年目に購入価の80% システム更新



[業務効率改善]

CT2台を保有する病院におけるCT検査業務分析結果(CT1台/検査あたり)



- 患者呼び込み・送出・説明
- フィルム焼付け
- 属性入力
- 現像待ち
- 検査
- フィルム確認・袋詰め

●1検査 約20分として、9:00-12:00、13:00-17:00で合計7時間(420分)検査を行なった場合、21件/日 の検査を実施可能。

①CT要員配置がCT2台に対して2名の場合・・・
1検査あたり、4分改善されることで検査数の向上が可能

→フィルムレス化により、1検査 16分に短縮でき、
最大で26件/日 検査の実施が可能となります。

②CT要員配置がCT2台に対して3名の場合・・・
要員1名は、フィルム作業に専従

→要員を1名減員するか、要員の再配置で業務効率の向上を図るといった選択肢が考えられます。

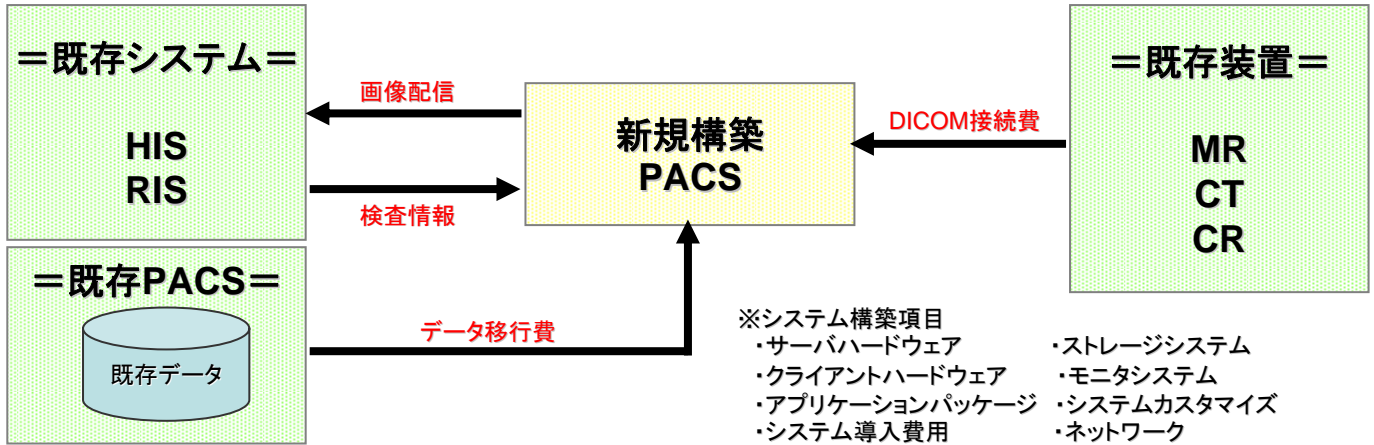
理論値で23.8%の業務改善！！(検査数の向上)

人件費削減、または業務効率の向上！！

Q.フィルムレスPACSを導入すれば、コストダウン・業務効率を改善できますか？

A. フィルムレスPACSをただ導入しただけでは、成功とは言えません。全くの新築施設ではない限り、既存システム・装置との接続連携が必須となります。既存システムからのデータ移行や既存装置(CT、MR、CR等)との接続費用・仕組みなど、**仕様化のノウハウ**が大きなポイントとなります。

[フィルムレスPACS導入構築図]



このシステム構築を仕様化の段階で既存ベンダ各社と調整・予算化する作業は、**非常に煩雑**であり、**専門的な知識**を要求されます。しかしながら、この作業なくしてフィルムレスPACSの成功はあり得ません！！

■ 接続費用削減コンサルテーションの実例(〇〇大学病院)

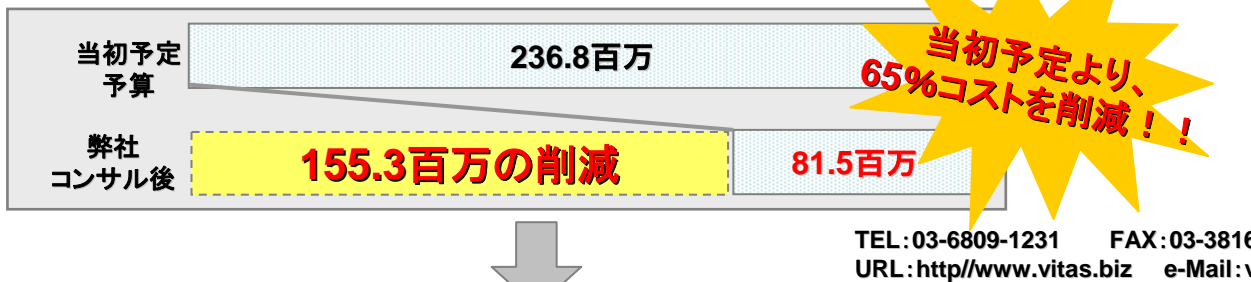
[現状/依頼内容]

- ・病床数 約1,000床
- ・HISシステム更新に伴い、電子カルテとフィルムレスPACSを構築予定
- ・既存HISベンダのRIS/PACSが既存システムとして存在
- ・装置側におけるシステム接続費用も、すべて新システム構築費用範囲内
- ・接続台数 65台
- ・接続仕様 DICOM c-store、MWM、MPPS
- ・コンサル側での概算接続費用の算出

[コンサル内容]

1. 接続方式の見直し
2. 装置メーカー折衝によるデータフロー見直し
3. 不必要な作業内容の確認
4. 不当競争防止のため病院名による見積取得

→結果レポートの提出(コンサル依頼後1.5ヶ月)



入札前に接続費用の削減が確認できたため、入札仕様範囲を拡大
データウェアハウスの解析ツール及び端末数の追加を実現しました！！

ヴァイタスでは、医療情報システムを熟知したスペシャリストが、PACS導入時の仕様化、接続コスト算出のご支援および導入後の保守・運用コスト低減に関するコンサルテーションを承っております。ぜひ、ご相談ください。

■ 本件に関するお問い合わせ、詳細資料をご希望の方は下記へご連絡下さい。



株式会社 ヴァイタス

〒113-0033

東京都文京区本郷2-17-17井門本郷ビル4F

TEL: 03-6809-1231

FAX: 03-3816-2397

URL : <http://www.vitas.biz>

e-Mail : vitas.inform@vitas.biz